



「言葉の力」 ～「あいうえお」たいせつなこと～

夏休みまであとひと月となりました。これまでの学習のまとめとともに、8.6km歩く遠足や新体力テスト、水泳学習、保育園と交流する夏の集会、八雲養護学校との交流学习など、楽しい活動がたくさんある1か月となります。熱中症等、暑さ対策にも気を配りながら取り組んでいきます。

さて、表題の「言葉の力」とは、筑波大学名誉教授(元学長)の北原保雄氏が「ことば」について考察した論文です(月刊日本教育の4・5月号掲載)。

要約すると、次のようになります。

人間は言葉によって人とつながりを持ち、生き方や文化を蓄積して進歩してきた。言葉は空気と同じで存在しないと生きていけない。言葉による情報伝達では、「的確で効果的」に伝えることが「言葉の力」を発揮させる。的確な表現とは、言葉のきまりにかなっていることであり、効果的な伝達とは、ものごとのどの部分を取り上げて言語化することである。これらを踏まえた上で、昨今のネット社会における「フェイクニュース」などのウソをつく力や言葉の暴力も「言葉の力」ととらえている。一方、「言葉の力」には、喜びを与え、人を励まし、動かす力がある。行為に対して言って聞かせたり、誉めたりすることで言葉は力を発揮するが、『頑張ったにおいがする』(朝日新聞社 私のことばコンテスト2018)のように直接的でない言葉も強い力を発揮する。さらに、感化する力である。短い言葉から深い意味が読み取れる名句が、元気づけたり落胆させたり、勇気づけたりするのも言葉の力である。言葉の発揮する力は多様で、他にもまだいろいろあるが、言葉が存在することのありがたさ、その発揮する力の偉大さを改めて認識して、利活用することが大切である。

廊下の児童会伝言板には【「あいうえお」たいせつなこと】と題して「あいさつ」「いのち」「うんどう」「えがお」「おもいやり」と一文字一文字、大きく書いて掲示しています。山崎小学校児童会の伝統として、代々受け継がれている言葉です。子供たちは、毎日、この言葉の前を通り教室へ向かいます。普段は空気のように見慣れている文字ですが、その時々で見え方、感じ方が違うことがあるのでしょうか。そして、心の成長に合わせて、この言葉から力をもらっているのだと考えます。

私たち教職員は学校で働く者として、言葉の力を肝に銘じ、的確で効果的に、励ます力や動かす力、感化する力を最大限に発揮できるよう努力してまいります。

運動会 御支援・御協力 ありがとうございます！！

6月2日は、前日までの雨のためグラウンド状態が回復しなかったため、体育館で運動会を実施しました。保護者・地域の皆様の温かい御声援の中、園児・児童が思い切り力を発揮することができました。心から感謝申し上げます。また、卒業生がたくさん集まり、お手伝いや競技に参加して運動会を盛り上げてくれました。山崎小学校のこの素晴らしい伝統に感激しました。重ねて感謝申し上げます。

～資源回収～

6月9日、山崎地区青少年健全育成会が今年から年1回となった資源回収を行いました。小学生から地域の方まで力を合わせて活動しました。

地域の皆様にはたくさん御協力を賜り、感謝申し上げます。

親子レク 終了！！

6月2日、運動会終了後に行われた親子レクリエーションは、好天に恵まれ、園児から地域の方までドラム缶コンロを囲み、運動会の健闘をたたえ合いながら、焼肉に舌鼓を打ちました。御参加、ありがとうございました。

環境整備 実施！！

PTAの皆様の御協力をいただき、6月7日に学校の裏の刈払い、6月16日には「我が子のための大作戦」を行いました。普段の清掃活動では行き届かないところがピカピカになりました。ありがとうございました。

いじめに関するアンケート 結果

本校では、「八雲町立山崎小学校いじめ問題等防止基本方針」の通り、年3回、いじめに関するアンケート調査を実施しています。

今回の調査では、いじめは0件でしたが、御家庭で気になることがありましたら、いつでも学校まで御連絡下さい。

～第113回 開校記念日～6月23日は、開校記念日です。石川錦一郎氏と地域の方の御尽力により、明治39年4月に授業が開始されました。7月の全校集会では、山崎の昔のお話をする予定です。